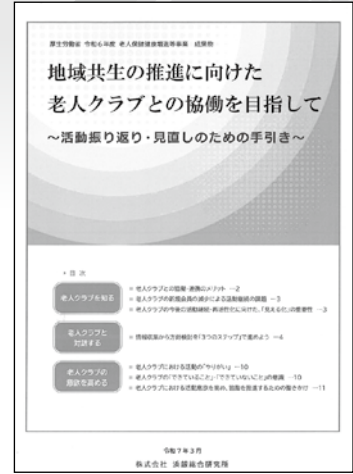


～今後の老人クラブ活動に向けて～

活動の『見える化』を 進めましょう！！



現在、老人クラブの抱える最大の課題は、

クラブ数・会員数減少問題です。

その要因は様々で、老人クラブでは如何ともし難いものがありますが（例ー就労年齢の上昇）、老人クラブ未加入者に対する都市部のアンケートでは、「老人クラブ」は何を行っているのかよく分からない、加入を誘われたこともないという意見が非常に多かったところです。

確かに、老人クラブの会員同士は、みなさん活き活きと、非常に仲良く楽しく活動されていますが、外部の方からみれば、なかなかとつきにくい集団とされているようです。

このようなご指摘や反省を踏まえ、老人クラブとしても、今後は、老人クラブ活動の『見える化』に、一層取り組んでいく必要があります。

そこで、県老連では、2026年度（令和8年度）の最重点取組課題として、この『見える化』を掲げ、県老連女性・若手委員会や市町老連会長研修会、さらに拡大ブロック女性・若手リーダー研修会での議論を精力的に進める予定です。

会員の皆様には、どうか忌憚ないご意見を県老連宛てお寄せください。

『見える化』のポイント

- ❶ 老人クラブとの接点がない、活動の内容ややりがい等が伝わっていない。（このため、自分とは関係のないものだと思われる。）
- ❷ 老人クラブがどのような活動を行っているのか、その活動には地域社会にとってどのような意義があるのか、ということについて 世の中に情報を発信し、理解促進を図っていくことが重要である。
- ❸ そこでポイントとなるのが、老人クラブの理解促進・活性化に向けて、老人クラブの活動を『見える化』すること。
- ❹ 『見える化』により、行政のみならず老人クラブ自身が自分たちの取組の意義を再発見することにつながり、会員の方々の自信や意欲を高めていくことも期待できる。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています